



いそざき哲史参議院議員 5/30経済産業委員会で質疑に立つ！
【議題】EV・バッテリー促進税制、国際標準化戦略

第213回
通常国会



いそざき 哲史
参議院議員

【EV・バッテリー促進税制】（戦略分野国内生産促進税制）

- 優遇措置対象を「**バッテリー**」ではなく「**電気自動車等**」とした理由は？
自動車のノックダウン生産方式（※）は対象となるのか？
- 部品の**国内調達率**などは適用条件に件含まれないのか？
将来的にはサプライヤーへの波及効果に繋げる必要がある。国内製造/投資により地域に雇用が生まれ、その結果、経済の安定に繋がる。
今回の法案はサプライチェーンの強化にどのように繋がるのか？
- **最終工場が日本国内にあること=広範なサプライヤーが国内に留まる要因**。この構図が**日本の競争力や雇用の維持に繋がる**ため、注視していただきたい。
例えば、現在、「型」の技術者が少ないという課題が顕在化しており、技術者の育成が必要であり、施策や仕掛けの検討をお願いしたい。



（※）ノックダウン生産方式とは？

クルマを構成する部品を相手国に輸出し、相手国内の工場を組み立てて完成させる方式

【経済産業省 政府参考人】の
答弁は動画をご視聴ください。

【EV・バッテリー促進税制】をきっかけに、**国内投資が産業力強化に繋がるように、インセンティブが働くような仕掛けを検討していただきたい！！**（いそざき 哲史参議院議員）



【EV・バッテリー促進税制】、【国際標準化戦略】の詳細が知りたい方は、
下記リンクより経済産業省の資料をご参照ください。

「新たな事業の創出及び産業への投資を促進するための産業競争力強化法等の一部を改正する法律案



【国際標準化戦略】

- **日本は「技術があっても市場を取れない」。**
国際標準化戦略における政府の課題認識は？
- **ヨーロッパはEU域内20数か国あり、合意形成が即、国際標準に繋がりがやすく、標準化(交渉)そのものがビジネスにもなっている。**
アメリカは国内市場のスケールを活かした、デファクトスタンダード（事実上の標準）が可能。
一方、日本の2021年565社の経営層に対するアンケート結果では、「経営戦略/開発テーマ設定」「デジタル技術の活用」：30%以上注力
「規格等のグローバル標準化への対応」：1.5%しか注力していない。
昨年6月に日本型標準加速化モデル（国際規格の専門家のデータベース化）が政府から発表されたので、**日本企業がビジネスで勝ち残れるように、是非取り組んでいただきたい。**



いそざき 哲史
参議院議員

【齋藤経済産業大臣】の
答弁は動画をご視聴ください。



齋藤経済産業大臣

- 企業ではなく、アカデミア側での知的財産や標準化の社会実装に向けた重要性はどのように受け止められているのか？
アカデミアの世界では評価されにくいという声がある一方で、最近では文部科学省から社会実装化への検討要請も多くなったという声も聞こえてくる。
学問の追求と社会への貢献、どちらか一方ではなく、二軸の重要性の理解向上を丁寧に進めていただきたい。（いそざき 哲史参議院議員）

- アカデミアとも連携強化が進みつつある中、「標準化に対する日本のプレゼンス向上」や「若手の人材育成の観点」から、**標準化に関する国際会議の日本への誘致を是非ご検討いただきたい！**（いそざき 哲史参議院議員）

【齋藤経済産業大臣、政府参考人】の
答弁は動画をご視聴ください。

